

## 井上周八教授の略歴および業績

1925年3月9日生

### 学 歴

- 1943年 4月 明治学院高等商学部入学
- 1946年 3月 同校卒業
- 1946年 4月 立教大学経済学部入学
- 1949年 3月 同大学卒業
- 1949年 4月 東京商科大学（現一橋大学）入学
- 1952年 3月 同大学卒業
- 1954年 4月 立教大学大学院修士課程（経済学専攻）入学
- 1956年 3月 同課程修了，経済学修士
- 1956年 4月 立教大学大学院博士課程（経済学専攻）入学
- 1959年 3月 同課程所定単位取得

### 職 歴

- 1952年 9月 都立大森高等学校（定時制）非常勤講師
- 1953年 4月 同校教諭（58年3月まで）
- 1957年 10月 立教大学経済学部助手
- 1960年 4月 同大学講師
- 1961年 4月 同大学助教授
- 1968年 4年 同大学教授
- 1970年 10月 明治薬科大学非常勤講師（71年3月まで）
- 1972年 4月 中央大学商学部非常勤講師（73年3月まで）
- 1977年 4月 関東学院大学経済学部非常勤講師（82年3月まで）
- 1983年 4月 中央大学経済学部非常勤講師（85年3月まで）
- 1990年 3月 立教大学経済学部を定年により退職
- 1990年 6月 同大学名誉教授

### 学 位

- 1965年 3月 経済学博士（立教大学）

### 学会および社会における活動

日本経済政策学会幹事・理事, 経済理論学会会員, 経済学史学会会員,  
チュチュエ (主体) 思想国際研究所理事長

### 研究業績

#### 著 書

##### [単著]

1. 地代の理論 1963年 2月 理論社
2. 農業経済学の基礎理論 1967年 2月 東明社
3. 日本資本主義のあゆみ 1968年 9月 青木書店
4. 日本資本主義の米価問題 1968年 12月 亜紀書房
5. 現代マルクス経済学 1972年 2月 亜紀書房
6. 現代日本の経済的諸問題 1977年 5月 税務経理協会
7. 経済学——解説と研究—— 1979年 5月 文真堂
8. 現代朝鮮と金正日書記 1983年 2月 雄山閣
9. 経済政策論序説 1985年 12月 文真堂
10. チュチュエ思想概説 1987年 1月 雄山閣
11. 人間中心のチュチュエ思想 1990年 2月 チュチュエ思想国際研究所

##### [共著]

1. 経済政策講座 (第4巻) 1962年 9月 有斐閣
2. マルクス経済学演習 1962年 10月 春秋社
3. 資本論講座 (第6巻, 地代・収入) 1964年7月 青木書店
4. 資本論の展開 1967年 12月 同文館
5. 経済原論 1969年 11月 有斐閣
6. 現代日本経済の批判 1974年 6月 文真堂
7. 国民の経済白書 1974年 9月 「経済評論」増刊号
8. 協同組合論・批判と考察 1976年 7月 文真堂
9. 資本論を学ぶ 1977年 10月 有斐閣
10. 産業と政府の経済政策 1978年 11月 勁草書房
11. 食糧管理制度論 1982年 1月 農山漁村文化協会
12. 経済学の動向 (第2集) 1982年 3月 東洋経済新報社

#### 論 文

1. 改革前わが国小作料の地代論的考察

- 「立教経済学研究」12巻2号（1958年10月）
2. 「農民的分割地所有」の基礎的考察  
「立教経済学研究」13巻1号（1959年6月）
  3. 差額地代の基本的考察  
「立教経済学研究」13巻2号（1959年10月）
  4. 絶対地代論とその問題点  
「立教経済学研究」14巻1号（1960年6月）
  5. 社会主義社会における地代の存在について  
「立教経済学研究」15巻3号（1961年12月）
  6. 虚偽の社会的価値の本質について  
「一橋大学経済研究」17巻3号（1966年7月）
  7. 農地改革の意義とその後の農地問題  
「ジュリスト」476号（1966年4月）
  8. 農地をめぐる戦後史  
「中央公論」87巻8号（1972年8月）
  9. 「資本制生産に先行する諸形態」について  
「一橋大学経済研究」23巻4号（1972年12月）
  10. 朝鮮民主主義人民共和国におけるチュチェ農政の展開について  
「立教経済学研究」33巻1号（1979年7月）
  11. 平壤食糧・農業増産討論会に関する若干の問題について  
「立教経済学研究」37巻4号（1984年3月）
  12. エレクトロニクス革命について  
「立教経済学研究」41巻4号（1988年3月）
  13. マルクス地代論の若干の問題について  
「立教経済学研究」42巻1号（1989年1月）
- その他約100余編省略